

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> 経験したことや感じたことを表現し、相手に伝えること。 話を集中して聞き、応答すること。 平仮名や片仮名、漢字を正しく読んだり書いたりすること。 生活に関連した語彙を増やすこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 親しみやすい教材を取り上げたり、活動や教具を工夫したりすることで考えをもたせ、伝えたい事柄を表現できるようにする。 話をしている内容をその都度質問することで、集中して聞く姿勢を身に付けさせる。 繰り返し学習する機会を設け、平仮名、片仮名、漢字の定着を図っていく。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分の身近な人々、社会、自然との関わりを楽しみ、社会性を培うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校探検やお世話になっている先生方へのインタビュー、植物の栽培、様々な生き物とのふれあいなど活動や体験を通して対象と関わり、自分自身と身の周りのことに興味をもてるようにする。 活動を通して気付いたことや楽しかったことや感じたことを言葉や絵、動作など多様な方法で表現することができるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体物や半具体物を用いて、数の感覚を豊かにすること。 加法及び、減法を用いることができること。 具体物を比べる活動を通して、量感覚の素地を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物やブロックなどの半具体物を用いた活動を通して、数を正しく数えたり表したりする。 絵や図などをノートに書く活動を通して、加法・減法ができるようにする。 水やテープなどの具体物を使い、長さや体積などを比べ、量感覚を養うようにする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なきまりや活動を理解して、皆と楽しく運動すること。 基本的な動きを身に付け、体力を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に活動の流れを確認したり、見る時間を保障したりすることで、安心して活動に参加できるようにする。 実態に応じて課題を調整し、体を動かす楽しさを実感できるようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを想像すること。 自分の思いをもち、実態の応じた方法で表現すること。 友達の考えを聞いて良さを感じることに。 	<ul style="list-style-type: none"> 題材を精選し、視覚的な教具を活用したり ○×や表情などを選択することで自分の考えを示したり、発表の機会を設け、友達の発言を共有したりできるようにする。 協働的な活動を通じて友達の考えに触れさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく音楽に関わり、音楽活動をする楽しさを味わうことができるようにすること。 歌唱や演奏の基本的な技能を養うこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に音楽で扱う曲に触れる。 鍵盤に色シールをはり、押さえる箇所を分かりやすくすることで演奏の手助けをしていく。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 手や体全体の感覚や技能などを働かせ造形活動を楽しむこと。 材料や用具を適切に用いていること。 	<ul style="list-style-type: none"> 実態に応じて製作の行程を調整していくことで楽しみながら造形活動が行えるようにする。 安全に配慮し、実態に合わせて用具の使用場面を精選していく。
学級経営	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級において多様な経験を積み、いろいろな人との関わりを楽しみ、支援教室において基礎的な生活習慣を身に付けていくこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流学級において日直や係、当番活動に取り組むことで、クラスでの自己の役割を認識させて、自信に繋げていく。 支援教室で予定や行事の事前授業、学校生活に関する指導をし、安心して学校生活を送れるようにする。